

Cisco UCS ファームウェアのバージョン表記

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[1. UCS ファームウェアのバージョン情報](#)

[2. UCS ファームウェアパッケージ](#)

[3. UCS ファームウェアバンドル外観](#)

[4.1 UCS 6100 Fabric Interconnect のファームウェア](#)

[4.2 UCS 2100 ファームウェア-IO モジュール](#)

[4.3 UCS B シリーズ ブレードのファームウェア](#)

[4.4 UCS アダプタカードのファームウェア](#)

[4.5 UCS Manager のファームウェア](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、UCS ファームウェアに関するバージョン情報の解釈方法とコンポーネントの識別方法を説明しています。

Cisco UCS は次のような方法で配布されます。

- UCS イメージが単一のバンドルとして配布されるか、個別のコンポーネント イメージとして配布される。個別のイメージには、UCS Manager、UCS Fabric Interconnect、IO モジュール、BMC、BIOS、アダプタなどがあります。
- UCS ファームウェアが Cisco Software Delivery System でホスティングされる。
- UCS Manager によりバンドルがアンパック (パック解除) され、スイッチに格納されたイメージ カタログがアップデートされる。
- UCS Manager により、スイッチに格納されたすべてのコンポーネント イメージのカタログが維持管理される。
- どのバンドルでも、出荷されるのは各コンポーネントの 1 つのバージョンだけです。同じバンドルに、UCS が使用される複数のハードウェア プラットフォーム用のコンポーネント イメージが含まれています。
- 各コンポーネント イメージにはバージョンが付けられ、ユーザが識別できるようになってい

ます。配布される各コンポーネント イメージには互換性があり、それぞれ別々にアップグレードできます。

UCS のファームウェアはバンドルあるいは個別イメージのいずれかの形式で配布されます。

- バンドルバンドルには、ファームウェアを必要とする各コンポーネント用のパッケージが取り込まれています。現行のトラッキング対象には下記の 3 種類のバンドルがあります。
— 正常なバンドル.gbin — デバッグ情報のバンドル; 指示されるただエンジニアリングNX-OS にルートアクセスを許可する dplug — dplug ファイル; 指示されるただエンジニアリング
- 個別イメージ

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco UCS サーバ ブレードのソフトウェアとハードウェア
- UCS Manager
- このドキュメントで説明されているさまざまなコマンドの影響と (包含されている) 意味
- UCS コンポーネントおよびトポロジー; 一般的なソリューションについては、ネットワーク図を参照してください。

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco UCS に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

ネットワーク図

一般的な Cisco UCS のトポロジーは次のようなものです。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

1. [UCS ファームウェア の バージョン情報](#)

このセクションでは、UCS ファームウェア バージョンの形式を説明しています。

[NX-OS](#)

NX-OS バージョン番号は Cisco 標準形式に付着します。たとえば、4.0(0)N1.1。

その他の UCS のコンポーネント

他の UCS コンポーネントは標準ソフトウェア形式 (X.Y.Z) に付着します。たとえば、1.0.0。

- X はメジャー バージョン/リリースを表しています。これが使用されるのは、メジャー フィーチャのリリースやアーキテクチャ上の変更の場合です。
- Y はマイナー バージョン/リリースです。
- Z は不具合修正バージョン/リリースです。

2. UCS ファームウェア パッケージ

イメージとは、あるエンドポイントに特定のファームウェアの単位を表しています。たとえば、IOM イメージ、BMC イメージなどがこれにあたり、1つのパッケージには複数のイメージがバンドルされています。パッケージ化されている理由は、配布とダウンロードを容易にするためだけです。イメージとは違って、パッケージにはバージョンは付けられていません。UCS Manager では、パッケージと個別イメージのどちらもダウンロードできます。パッケージをダウンロードする場合、パッケージがアンパック (パック解除) されて、そこから個別のイメージが抽出されます。パッケージとは、ダウンロード時に作成される読み取り専用オブジェクトです。パッケージによりディスクスペースが占有されるわけではありません。パッケージの実体は、パッケージダウンロードの一環としてアンパック (パック解除) されたイメージのリストです。また、パッケージは削除できません。パッケージで配布されたイメージがすべて削除される際に、自動的にパッケージが削除されます。個別のイメージがダウンロードされる際、パッケージ名はイメージ名と同じになります。

パッケージにあるイメージには、次のものがあります。

- Fabric-Interconnect のカーネル イメージとシステム イメージ
- UCS Manager イメージ
- IOM ファームウェア イメージ
- BMC ファームウェア イメージ
- ネットワーク側のアダプタ ファームウェア (Cisco UCS CNA M71KR、Cisco UCS VIC M81KR)
- ホスト側のアダプタ ファームウェア (Cisco UCS CNA M71KR アダプタだけに適用可能) Qlogic 製オプション ROMEmulex 製オプション ROMEmulex 製ファームウェア
- LSI のオプション ROM
- LSI のファームウェア
- BIOS

3. UCS ファームウェア バンドル 外観

UCS ファームウェア バンドルを表示するには、次の手順を実行します。

1. UCS Manager にログインします。
2. ナビゲーション ペインで **Equipment** タブをクリックします。
3. 作業ペインで **Firmware Management** タブをクリックします。
4. Firmware Management タブにある **Package** をクリックします。
5. 特定のファームウェア バンドルをクリックします。次に、各バンドル内にあるファームウ

エア コンポーネントを説明します。ucs-2100.1.0.1e.bin — IO モジュール イメージucs-6100-k9-kickstart.4.0.1a.N2.1.1e.bin — UCS ファブリック相互接続はイメージを Kickstartucs-6100-k9-system.4.0.1a.N2.1.1e.bin — UCS ファブリック相互接続システムイメージucs-b200-m1-bios.S5500.86B.01.00.0036-191.061320091126.bin — UCS-B200-M1 ブレード BIOSucs-b200-m1-k9-bmc.1.0.1e.bin — ブレード BMC イメージucs-b200-m1-sasctrl.01.26.00.00_06.24.02.00_03.08.00.00.bin — LSI ロジック SAS コントローライメージucs-m71kr-e-cna.1.0.1e.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Emulex チャンネル利用不可 イメージucs-m71kr-e-hba.2.80A4.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Emulex HBA イメージucs-m71kr-e-optionrom.5.03A8.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Emulex オプション ROMイメージucs-m71kr-q-cna.1.0.1e.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Qlogic チャンネル利用不可 イメージucs-m71kr-q-optionrom.2.02.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Qlogic オプション ROMイメージucs-manager-k9.1.0.1e.bin — UCS GUI イメージ

4.1 UCS 6100 Fabric Interconnect のファームウェア

これは UCS Fabric Interconnect ファームウェアのイメージです。

- イメージ — ucs-6100-k9-kickstart.4.0.1a.N2.1.1e.bin Kickstart
- システムイメージ — ucs-6100-k9-system.4.0.1a.N2.1.1e.bin

4.2 UCS 2100 ファームウェア-IO モジュール

これは単一 ファームウェアイメージ — ucs-2100.1.0.1e.bin です

4.3 UCS B シリーズ ブレードのファームウェア

これは UCS B シリーズ ブレード ファームウェアのイメージです。

- BIOS — ucs-b200-m1-bios.S5500.86B.01.00.0036-191.061320091126.bin
- BMC — ucs-b200-m1-k9-bmc.1.0.1e.bin
- LSI SAS controller — ucs-b200-m1-sasctrl.01.26.03.00_03.12.00.00.bin

4.4 UCS アダプタ カードのファームウェア

- Cisco UCS 82598KR-CI 集中型 ネットワーク adapter — ファームウェア無し
- Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR — EmulexCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Emulex — ucs-m71kr-e-cna.1.0.1e.binCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Emulex FC — ucs-m71kr-e-hba.2.80A4.binCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Emulex オプション ROM — ucs-m71kr-e-optionrom.5.03A8.bin
- Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR — QlogicCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Qlogic — ucs-m71kr-q-cna.1.0.1e.binCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Qlogic オプション ROM — ucs-m71kr-q-optionrom.2.02.bin

4.5 UCS Manager のファームウェア

これは UCS Manager ファームウェアのイメージです。

UCS Manager — ucs-manager-k9.4.0.1a.N2.1.1e.bin

このコードが搭載されていて、稼働するのは UCS 6100 です。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)
- [UCS ファームウェア管理での一般的なヒント](#)
- [Unified Computing System のファームウェア管理ベスト プラクティス](#)